

番号	日付	校区	発言者	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
1	11.18(木)	常盤	発言者A	市民協として学校支援の活動を実施している。 通学区域の見直し検討対象地域において、今後、開発等で児童生徒数が増加した場合、また校区が変更となるのか。	住宅開発等の影響については、見えない部分もあるが、市長部局のまちづくり等ハード部門担当からも、開発予定等を聞きながら進めていく。仮に急な開発行為により住宅戸数が増加し、その区域の児童生徒数が増加するなど、現状の基本方針及び実施計画（案）の内容とそぐわない状況になれば、見直しが必要だと考えている。
2	11.18(木)	常盤	発言者B	開催時刻が18：30となっているが、幼稚園・保育所の再編に係る説明会は19：00開会であった。現役世代にとっては特に参加しにくい時間設定である。考慮願いたい。せめて19：00か、19：30、20：00といった時間設定を要望する。	【ご意見として承る】
3	11.18(木)	常盤	発言者B	地域コミュニティ云々の話について、本日は市長部局の職員は参加しておらず、全員が教育委員会からの参加のようだが、今後の地域コミュニティのあり方について、市長部局とどのような連携をしていくのが不安。	市長部局の地域コミュニティ担当課、防災担当課といったところと事前に連携・協議をした上で、計画（案）を策定した。 本日は市長部局の職員は参加していないが、今後、地域コミュニティや防災といったテーマで、より具体的な説明が必要な場面が当然出てくると想定しているため、その際は市長部局の職員も参加・説明することを考えている。
4	11.18(木)	常盤	発言者B	通学路について、水道みち（包近流木線）に信号をつけてくれるのか。そういった具体的対策が出てきていない。具体的対策を明確に示されれば、納得できる部分もあるが。	子どもたちの安心・安全を守ることを最優先に考える上で、ソフト面だけでなく、ハード面の整備についてもしっかりと対応していく。
5	11.18(木)	常盤	発言者C	小中一貫教育基本方針の説明の中で、通学区域を同じ小学校から同じ中学校に進学できるようにしていきたいとあり、また、計画（案）説明中に、常盤小学校5年生時に再編が為された場合、卒業まで通えるようにしたいとあったが、常盤小学校からはほとんどの児童が桜台中学校に進学する。それを考慮の上、門前町の児童も桜台中学校に進学できるのか聞きたい。	学校の適正規模・適正配置のことを考えると、中学校から新たな学校（通学区域）ということも想定されるが、小学校で培った友人関係が、中学校が分かれることにより受ける影響も懸念されるため、その取り扱いについても、地域や保護者の方々と協議を進めていきたい。
6	11.18(木)	常盤	発言者D	岸和田市の学力が芳しくない状況の中、それを改善することも今回の取組における目的の一つだと思うが、実際はどれくらい状況なのか。また原因はどう考えているのか。 一人ひとりの児童生徒をみていくことが望ましいと思うが、規模を大きくすると、余計やりにくくなるのではないかと。多様な考えに触れる、コミュニケーション能力を養う、といったことも理解はできるが、はじき出されてしまう子どもも出てくるのではないかと危惧する。今あるような小規模な学校においても、一人ひとりをみていけるのではないかと。	学力について、全国の中でも、大阪府の中でも芳しくない結果となっており、力を入れていかなければならないと認識している。詳細な結果及び分析については、市ホームページに掲載しているので、またご覧いただければ幸い。 一人ひとりに丁寧な指導を実施することも、学力向上に向けた方策のひとつと考えている。一方、市全体の結果を分析したところ、小規模校だから学力が高い、大規模校だから低いといった傾向はみられなかった。 理想は、学校規模に関わらず、すべての学校において学力向上をめざすこと。 また、学校全体の規模を示す「学校規模」と、1学級あたりの人数を示す「学級規模」は異なる。文科省においても35人学級を進める中、学級規模の縮小は一定の効果が見込めると認識しており、少人数学級に係る要望はこれまでも実施している。今後も継続していく。今回の取組は、学校規模の適正化を進めていくものであることにご理解願いたい。

番号	日付	校区	発言者	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
7	11.18(木)	常盤	発言者A	小中一貫教育基本方針というものは、市全体の方針なのか。	市全体の施策として進めていくもの。 今後、施設一体型の学校と、これまでの分離型の学校で、形態は異なるが、全体として、今できるところからスタートし、現状の小・中学校の連携から小・中学校の一貫教育に発展させていきたい。
8	11.18(木)	常盤	発言者A	適正規模・適正配置の取組を進めるから、小中一貫教育をやりやすくなるということなのか。今回の説明会で小中一貫教育の説明を合わせて実施する理由がわかりにくい。 今でも、常盤小学校と光明小学校から揃って桜台中学校に進学するので、小中一貫した教育になっているように思う。通学区域見直して、そうではなくなること、適正規模・適正配置の取組と小中一貫教育の兼ね合いがよくわからない。	小中一貫教育基本方針の説明も、合わせて行っている理由は、実施計画（案）に、小中一貫校というものが出てきており、それがどういうものなのかを説明するため。 岸和田市の11中学校区すべてで小中一貫教育を進めていくという方針である。例えば生徒指導上、学力の関係などで合同会議を実施するといったことは、10年、20年以上前から小中の連携として、各中学校区で行ってきたところ。小中一貫教育としてめざすべき像を掲げて、小学校も、中学校も、同じ中学校区内で、より一層充実させていくものとなっている。 また、説明の中で、小・中学校の教員が相互乗り入れをしていくとあった。例えば中学校数学科の教員が、小学校で算数を教える、小学校の音楽の指導に長けた教員が、中学校で音楽を教える、競技に長けた教員が、部活動を指導するといった相互乗り入れをする際に、施設が一体であれば、より効率的に移動・実施できる。また小・中学校間の教員同士の意見交換も容易など、優位性が高いと認識しており、今回の計画（案）において小・中学校を一体的に整備することで、より効率的かつ有効に小中一貫教育を進めていきたいという考えについて説明させていただいた次第。
9	11.18(木)	常盤	発言者E	門前町は、葛城、修斉校区と隣接こそしているものの、町会連合会としての区割りは異なり、門前町は常盤連合にて活動している。それは、私の父親の時代から現在まで引き継がれてきている。その中で、（仮称）葛城小中一貫校の校区に含まれた理由がよくわからない。 常盤校区の地域で育ててもらった立場としても、そこから離れることは非常に難しい。町内でアンケート調査も実施し、教育委員会にも示したが、町会員に限る結果ではあるが、現状の常盤・桜台校区を望む声が多い。中でも、お子さんのいる家庭では8割近くが現状の校区を希望している。それらについても教育委員会はどのように考えているのか説明願う。	教育委員会としては、市全体の子どもたちの教育環境を最優先に進めていきたいと考えているところ。今回の計画（案）策定にあたっては、各校の規模及び配置バランスを踏まえつつ、通学距離や地域コミュニティ等に配慮した上で総合的に判断したもの。 地域コミュニティの関わりについて、同じ町内から、違う学校に通うことは好ましいことではないという判断も含め、門前町1～3丁目の通学区域を一体的に見直す案をお示したところ。学校再編に伴い、地域コミュニティのあり方も再編後の形に合わせていくよう、市や教育委員会から強制する意図はない。再編後の地域コミュニティのあり方については、地域の皆様の判断となるが、市からのサポート、関わり方についても、地域の皆様と一緒に話合いを重ねていきたい。

番号	日付	校区	発言者	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
10	11.18(木)	常盤	発言者F	<p>現状の説明では「バラ色の教育方針」のように思う。また、「数字合わせ」の面も感じ取られる。</p> <p>教育は、学校教育だけでなく、地域コミュニティも重要。学校教育は9年間で終わるが、それ以降も、地域とつながりながら生活していく必要がある。その中で、単なる数字合わせ、学校教育のことだけを考えた方針を出すのはいかがなものか。</p> <p>例えば門前町隣接の星和台では、皆が常盤小学校から桜台中学校という形で生活しており、子ども会活動、地区運動会といった行事を通じて地域コミュニティを培いながら、学校教育を終える。そこから地域で連携を取っていくことが大切であって、学校教育だけを取り上げるような考え方はいかかかと思う。</p>	<p>地域の皆様も一緒になって、小学校・中学校の児童生徒を育てていただいていること、お世話になっていることは十分に認識している。</p> <p>一方、学校教育をとらえた際に、9年間のより良い教育を提供していくということについては、教育委員会として最優先に考えていく必要があることだと認識している。</p> <p>そのような中、小・中学校卒業後もそれぞれの地域コミュニティとのつながりはあるため、通学区域が変更となることについて、地域の方々との関係が希薄化してしまうことのないよう、市全体として子どもたちのため、卒業後の対応やあり方についても十分に検討していきたい。</p>
11	11.18(木)	常盤	発言者F	<p>地域コミュニティも教育の一環である。学校教育のことだけを優先することはおかしいと思う。</p>	<p>先ほどの説明で学力に関するものがあつたが、詳細に述べると、全国平均に比べて10～15ポイント低いという状況がある。</p> <p>学力問題については、学校だけ、地域だけ、家庭だけ、ということではなく、三者が一体となって取り組まなければならない課題だと認識している。</p> <p>皆様には平素から学校を支えていただき、また地域としての教育力を発揮していただいていること、心から感謝申し上げます。</p> <p>今回は、教育委員会の立場から、より良いものと考えられる案をお示ししたもののだが、あくまでも「案」である。例えば、それぞれの地域において、連合町会が異なることで、学校を支えていけないというご意見もあるかもしれない。そのあたり、これからも地域の皆様にお話を伺い、話し合いながらより望ましい計画をつくりあげていきたい。引き続き、お知恵をいただきながら取り組んでいきたい。</p>
12	11.18(木)	常盤	発言者E	<p>地域コミュニティに関する説明を受けたが、なかなか理解しがたい。やはり学校教育と地域は連携し、一体となって子どもたちを育て、見守っていくのが本来の形だと思う。</p> <p>特認校制度の説明があつたが、その人数が計画の推計表には入っていないが、カウントするのか。特認校制度により、（仮称）葛城小中一貫校において一定の集団規模を確保できないか。</p> <p>それが困難だという話であれば、地域ごとの特性をみながら勘案していく必要があるのでは。よって、門前町は、現在の常盤・桜台校区のままでよいと考える。</p>	<p>特認校制度について、現在の計画（案）において（仮称）葛城小中一貫校、（仮称）山滝小中一貫校で検討する考えを示している。</p> <p>特認校制度を利用する人数については、現状読めないため、推計表には含んでいない。</p> <p>特認校制度の利点として、各校の地域の皆様に支えていただきながら、分野に特化した、特色ある教育活動を実施できることが一つ挙げられる。そういった学校の設置を検討するという考えである。</p>
13	11.18(木)	常盤	発言者G	<p>不安を取り除くために説明会を実施したのだと思うが、正直、除ききれなかったと思う。</p> <p>自分自身、常盤・桜台校区で子どもを育てたいと考え、自宅を購入した。そういった人生設計・計画を立てているため、子どもの減少で今回の取組が出てくることは理解するが、配慮を望みたい。</p> <p>全国学力テストやチャレンジテストの結果において岸和田市が全国平均を下回っていることも含めて、桜台中学校が良いな、と思っていた。小中一貫教育基本方針による取組を進めるより、現状の各学校において、対策していくほうが望ましいのでは。</p>	<p>各ご家庭で子どもの成長を考え、また人生設計を描いた上で住まいを考えられていることは認識している。</p> <p>教育委員会として、子どもたちの教育を最優先として取り組んでいる一方、家庭の考えにも配慮が必要ということは十分に理解しているので、引き続き、地域の皆様と協議を重ねていきたい。実施計画（案）はたたき台であり、決定事項ではない。今後も、教育委員会として、市として検討していく。</p> <p>現在も、各学校において学力向上に向けた取組は実施しており、引き続き、教育委員会と学校が一緒になって取り組んでいく。</p>

番号	日付	校区	発言者	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
14	11.18(木)	常盤	発言者G	<p>小中一貫校になると、中1ギャップが解消されるということだが、中学校に進学するタイミングで、新たに頑張ろうという気持ちを持つ児童も出てくると思う。 小中一貫校ではそういったきっかけがなくなってしまう懸念がある。</p>	<p>施設一体型小中一貫校については、実施形態が「義務教育学校」と「小中一貫型小学校・中学校」とある。 義務教育学校では、9年間を見通した一つの学校、1年生から9年生、という形態になる。 小中一貫型小学校・中学校では、小学校は6年生で終わり、次は新たに中学1年生という形態になる。 どちらの形態が適しているかについては今後の検討だが、子どもたちが1年生から9年生までずっと続くことによってモチベーションが下がってしまうことのないような形を検討していきたい。</p>
15	11.18(木)	常盤	発言者G	<p>特認校制度について、現在東葛城小学校が指定されているということだが、東葛城小学校におけるメリット、効果はあったのか。 また、地域特性を活かした特色ある教育について、実際はどのような取組をしているのかも含め、詳しく教えてほしい。</p>	<p>特認校制度によるメリットや効果について、東葛城小学校では稲刈り体験等、他地域では地域の方と一緒に取り組むことが難しいことも、地域と一体になって実施できていることが一点挙げられる。 また、英語学習等、分野ごとの教育についても、特色ある教育ができていると認識している。 また、平成31年度から制度がスタートする中、現在は特認校制度利用児童が23名在籍している。</p>
16	11.18(木)	常盤	発言者G	<p>小中一貫教育基本方針の中で、「新たな科」の設置や、相互乗り入れ指導といったものが良い話として出てきているが、学校の現状でいえば、教員の負担が大きい中、さらに新しい取組が可能なのか、現実味があるのかといった不安を感じる。</p>	<p>教員の負担について、現状においても重要な課題であると認識しており、今後取組を実施するにあたり、負担面をしっかりと考えて行っていく。教職員加配の点についても、可能な限りサポートしていきたいと考えている。 「新たな科」について、現状のイメージを説明すると、岸和田市は海があり、山があり、歴史や文化といった社会的財産があるなど、地域で学べる教材が豊富に存在する。そういったものを大切にする、岸和田を愛する子どもたちを育てるという意味で、岸和田のことを教材にし、岸和田に住む自分たちが岸和田のことについて、岸和田の未来について考える、それを小学3年生から中学3年生にかけて発達段階に応じた学習を進めていく。最終的に、中学3年生では「岸和田の未来を、自分たちはこういう風にしていきたい」といったことを研究の中から生み出していく、探究的な学習内容を検討している。 これは、現在の総合的な学習の時間に実施するイメージを持っており、そのための教材を作成し、提供することになるが、新たな取組のため、負担については当然考えられる。具体的な取組み方については、負担の部分も含めて小中一貫教育推進会議の中で検討を進めていきたい。</p>

番号	日付	校区	発言者	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
17	11.18(木)	常盤	発言者H	<p>自身も常盤小学校・桜台中学校を卒業し、自身の子どもも常盤小学校・桜台中学校に通わせたいと考えていたところにごういった話が出てきて、青天の霹靂のように感じている。</p> <p>説明の中で、地域コミュニティの話と、現状の通学距離が長いという話があったが、通学距離が長いことはデメリットではないと考えている。例えば通学路の長い時間の中で友だちと話をしたり、コミュニティの面でも地域の方々とあいさつを交わしたりといったメリットもあるということをご理解願いたい。</p> <p>地域コミュニティは長い時間をかけて醸成されてきたものであり、一朝一夕でできるものではない。今回門前町だけが切り離されて別の地域に編成されるとなれば、また何十年、何百年という時間をかけて地域コミュニティを作っていくのかといえば、それは困難なことだと思う。その間に育っていく子どもたちも、元のコミュニティから環境が変わっていくということは大変なように思う。</p>	<p>通学距離が長いことは悪いことだけではない、という点については、仰る通りだと考える。</p> <p>教育委員会の立場としては、繰り返しになるが、子どもたちの教育環境を最優先ということになる。地域コミュニティについては、学校再編に合わせて変更していかねばならないとは考えていない。ただ、小学校区が変更となることによって、保護者の集会等にも影響が生じることは事実。そのことについても、今回の計画（案）をたたき台に、地域の皆様と十分に協議を重ねていく。</p>
18	11.18(木)	常盤	発言者H	<p>門前町が常盤校区から切り離されるという案になっているが、そうではなく、例えば、土生中学校区と葛城中学校区を統合することは検討できるのか。</p> <p>アンケートにもあったが、常盤小学校・桜台中学校に子どもを通わせたいから門前町に家を購入した方もいる。自分自身もそのように思ったため、実家へ戻ってきた。一方、中には、新しい小中一貫校に魅力を感じる人もいるかもしれない。門前町としては、元の南掃守地区、常盤・桜台校区のままとして、新しい学校も選択できるという風にするのはどうか。</p>	<p>土生中学校は元々、葛城中学校が非常に大規模な学校であったため、分離新設した学校という経緯はあるが、今回の取組については、現在の各学校の規模及び配置バランス、また地域コミュニティ等を踏まえて総合的に判断してお示ししている中、中学校区を超える再編は影響が大きいだらうと考え、中学校区を単位に再編を検討したところ。</p> <p>門前町会によるアンケート結果についてはありがたく頂戴した。学校選択制について、地域の皆様によるご意見、ご要望を踏まえて、今後検討していきたい。</p>
19	11.18(木)	常盤	発言者H	<p>計画（案）はたたき台だという話があったが、実際どれくらいのスケジュール感なのか、また実施に向けた動きはどうかを教えてください。</p>	<p>教育委員会として、子どもたちの教育環境を最優先に、市全体の状況を総合的に鑑みたくて議論を重ね、ベターなものと思われる計画（案）としてお示しをしている。</p> <p>地域や保護者の皆様のご意見をまったく反映させないまま成案化することは考えていない。その一方で、現在も各地域に説明に回っているところだが、反対が多いからといって、簡単に取り下げるというものではなく、子どもたちの教育に対してより良いご意見をいただく中で、取り入れられるものであれば計画（案）を適宜更新していくというイメージである。</p> <p>様々な課題も考えられる中、課題も含めて皆様に説明した上で、一定程度了承していただいた時点ではじめて（仮称）学校開校準備委員会を設置できると考えている。そこから早くも5年程度で開校、という想定である。例えば今回の説明会以降も地域や保護者の皆様との話し合いを重ねていくが、その中で了承を得られたとして、早くても令和10年の開校となる見込み。</p>